

鉾屋町
町内会だより

舟っこ流し
7月29日～8月15日



7月29日、大慈寺地区コミュニ
ニティ防災センター2階で、こ
ども会育成会小学生の親子さん
たちが、舟っこ流しの飾りつく
りを行いました。

総勢30名ほどで、花・五色旗・
吹き流しなどを分担します。



不定期発行
発行者
鉾屋町町内会
編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社

人数が多い、というのは、や
はり大きな力で、午前中いっば
いかるかと思った作業が、1
時間半ほどで終了しました。



船体の上に、墓の上の屋根や、
戒名札を貼る柵などを取り付け
ていきます。
昨年の製作時には、これらの
作業は前の週に終わってしまし
た。時間を延長して作業を進め
ます。



舟を地面に下ろし、「龍の首」
の取り付けに備えます。





船体に取り付けました。ここまでできれば、一安心(?)です。



ピッピさんからリヤカーで龍の首運び、



8月7日には、某山中で、五色旗をつける笹を採取に行きました。



明けて8月11日、こども会育成会の中学生の親子さんたちが、舟つこ流しの飾りつけを行いました。



8月10日、大慈寺前の道路に、テントを組み立て、舟つこを境内から移動させます。かなり大掛かりな作業なので、川市さんの社員の方々にご協力をいただきました。



8月13日、盆の入りです。朝7時に大慈寺の和尚様により、読経が行われます。



今年はず定通り8月16日に開催されることが決まりました。いよいよ本番です。



お盆の間、朝から夕方まで供養の申し込みを受け付けます。供養札を1枚また1枚と貼っていきます。



町家のお化け屋敷 2023

もりおか町家物語館では7月28日から、恒例の「町家のお化け屋敷」が開催されました。初日に取材に行きましたが、テレビは民放4社とNHK、新聞社も2社ほどと、けっこうな報道体制です。それにしても、もう入口からして怖い。



さつそく入ろうとする子ども達ですが、誰が一番先に入るのかで、もめているようです。



今年のお化け屋敷の企画・製作を担当したのは、イラストレーターの前田ユウコウさん。舞台美術や写真家としても活躍されています。



ナカムラさんが今回のお化け屋敷の意図や構想を説明していたのですが、これが非常に論理的で、かつ分かりやすくお話を

るので、感心して聞いていたら、記者の方が1人また1人と集まってきた。



しまいには単独記者会見みたくになっていました。

中からは子ども達の騒いでいる声が聞こえます。本気で泣き出してしまった子もいました。

私も意を決して入ってみました。ちなみに内部は撮影禁止です。なんと言えばいいのか、本能的な危機を感じるような怖さでした。

あと、お化け屋敷って、1人で入るものじゃないですね。



迫力のある踊りが繰り広げられます。



8月14日、伝統さんさ踊りの黒川さんさ門付が行われました。大慈寺の境内へと入る黒川参差踊連中の方々。

黒川さんさと 迎え火



また14日は迎え火の日でもありました。



鉾屋町の通りでも、車両通行止めにして2箇所門付をしたのですが、すごい人出です。



8月に入り、め組では秋まつりの準備が忙しくなってきました。何百もある半纏を1枚ずつチェックして、番号順に並べて貸出に備えます。

編集後記と 朝顔日記 2023



夏も終盤へと向かっていきます。



今年は、薄い色の朝顔も咲いております。(桂)



8月6日、いわて漆亭が町家物語館に出店していました。今回はビールの呑み比べもできるとのことです、さっそくいただきます。